

はなずかん はる  
こども花図鑑 (春)



ヒメオドリコソウ

くちびるの<sup>かたち</sup>形をした、うす<sup>むらさきいろ</sup>紫色の花です。横<sup>よこ</sup>から<sup>み</sup>見るとおど<sup>こ</sup>り子<sup>こ</sup>のようです。

くるくる<sup>まわ</sup>回すと<sup>ほんとう</sup>本当に<sup>おど</sup>踊り<sup>だ</sup>出しそうです。



オオイヌノフグリ

はる<sup>そうげん</sup>春の草原でたくさん<sup>み</sup>見られます。花は、朝<sup>あさ</sup>に<sup>ひら</sup>開い

て<sup>よる</sup>夜こぼれ<sup>お</sup>落ちます。飛行場<sup>ひこうじょう</sup>の滑走路<sup>かつそうろ</sup>のような

模様<sup>もよう</sup>が、虫<sup>むし</sup>たちを<sup>みつ</sup>蜜の<sup>みちび</sup>ところに<sup>みちび</sup>導きます。



ホトケノザ

ほとけさま<sup>は</sup>仏様が<sup>うえ</sup>葉の上に<sup>すわ</sup>座っているようです。

はな<sup>あま</sup>花をなめると<sup>あま</sup>甘いです。

はる<sup>ななくさ</sup>春の七草の<sup>べつ</sup>ホトケノザは<sup>はな</sup>別の花です。



カラスノエンドウ

は<sup>みつ</sup>葉のわきから<sup>みつ</sup>蜜が出るので、<sup>おお</sup>多くのアリや<sup>みつ</sup>アブラムシが

たくさん<sup>あつ</sup>集まり、<sup>た</sup>アブラムシを<sup>た</sup>食べに<sup>き</sup>テントウムシも<sup>き</sup>来ます。

まめ<sup>はい</sup>豆が入った、<sup>いろ</sup>カラス色<sup>くろ</sup>の黒い<sup>いろ</sup>さや<sup>くろ</sup>ができます。

さや<sup>ふえ</sup>で<sup>つく</sup>笛<sup>つく</sup>が<sup>つく</sup>作れます。



## カントウタンポポ はな たくさんの花びらの

1つずつに種たねができ、風かぜで飛とんで行いきます。

これは昔むかしからの日本にほんのタンポポで、

道みちばたで多く見おおられるセイヨウタンポポとは

花はなのつけ根ねの形ことが異ことなります。



## スミレ にほん だいひょう やそう 日本を代表する野草で、

大昔おおむかしから人々ひとびとに愛あいされて来きました。

アリはこの種たねが大だい好きで、巣すに盛さかんに運はこびます。

この辺へんの野原のほらで、最も多おほいのは好味おおいスミレです。



## ナズナ ( パンパンガサ )

他たの草くさが育そだたない所ところでも大だい丈夫じょうぶな強つよい草くさです。

実みはハート形がたで、三味線しゃみせんをパンパンと弾ひくパチに

似にていますので、良よく観かん察さつしましょう。

春はるの七草ななくさの1つで、葉はが食たべられます。



## ハルジオン

しおらしく花はなが垂たれ下さがっています。

茎くきを押おすと中なかは空からとわかります。

よく似にたヒジヨオくきは茎なかの中つが詰つまっています。

花はなは開ひらいたり閉とじたりします。